

テーマ研究・調査活動成果報告書

提出日： 2012年 2月 20日

<p>テーマ名</p>	<p>ITCによるREBOK(要求工学知識体系)適用研究</p>	
<p>届出組織等名称</p>	<p>ITC大阪城</p>	
<p>成果物公開URL</p>	<p>http://itc-osakajo.jp/xoops/modules/d3downloads/index.php?page=singlefile&cid=8&lid=10</p>	
<p>当活動代表者 及び担当者連絡先</p>	<p>(代表者氏名)新保康夫 電話番号:06-6946-1840(勤務先) e-mail: shimbo@ncs.co.jp</p>	<p>(担当者氏名)新保康夫 電話番号:06-6946-1840(勤務先) e-mail: shimbo@ncs.co.jp</p>
<p>研究・調査 成果概要</p>	<p>ITCにおいて、REBOKがどの程度活用できるものかを調査し、また、REBOKを活用するために、ITCとしてのプラクティスの例を挙げ、ITCとしてREBOKを活用できるノウハウをまとめる。 REBOKにより、IT戦略策定フェーズ～IT導入フェーズ前半までを最低限の品質を担保できることにより、ITCの品質を保持できる。 ITCによるREBOK(要求工学知識体系)適用研究は、以下のポイントで調査・研究を実施した。 (1) ITC向けのREBOKの簡単な概要。 (2)PGLとREBOKのマッピング。 (3)過去の事例から、REBOKの一部に該当するところの事例。 (4)REBOKを活用するためのプラクティスの列挙。 この結果、情報システム導入におけるユーザ側の要求を合目性・整合性を持って、システムを実現することは、ユーザ企業およびITベンダ企業においては、今も重要な課題である。昨今、報じられるシステムトラブルの主要な要因のひとつとして、要求フェーズにおける曖昧さがあげられているが、超上流工程をカバーするITCが、REBOKを活用し、顧客に、品質の高い要件定義書を策定させることができる。 ※REBOKとは、JISA(一般社団法人情報サービス産業協会)が発表したREBOK(要求工学知識体系)である。</p>	
<p>成果物</p>	<p>ITCによるREBOK(要求工学知識体系)適用研究報告書 3月16日にテーマ研究・調査活動成果報告をITC向けに開催し、上記、報告書の報告を実施する予定。</p>	

* 青字は事務局で記入します。

<p>事務局受付日</p>	<p>2012/2/20</p>
<p>案件番号</p>	<p>S11004</p>